

平成31年度六戸町社会福祉協議会

基本理念

「みんなで支え合い すべての人が 安心して暮らせる町づくり」

基本方針

近年、人口減少・超高齢社会を迎え地域社会の様相は大きく変容し社会的孤立や経済的困窮等の問題、虐待や権利侵害の問題等地域における生活・福祉課題は複雑化・多様化しています。

国は、これらの問題解決に向けて「地域包括ケアシステムの構築」を推進してきましたがこれを更に進化させた「地域共生社会の実現」を提言し、「我が事・丸ごと」の地域づくりを推進する体制づくりが市町村の役割とされました。

現在、進められている「地域共生社会」に向けた仕組みづくりは、これまで社協が取り組んできた方向性と合致するものであり、地域住民を主体とした地域福祉推進の中核的な組織として、今後もその役割を最大限に発揮していかなければなりません。

この様な状況の中で、本会では生活支援体制整備事業、共助ための基盤づくり事業を推進し、積極的に地域に出向き地域づくりや人材育成を進め、地域の支え合い活動の更なる充実を目指していきます。

また、深刻な生活課題を抱える対象者・世帯に対しては、あらゆる生活課題へ対応するために、分野横断的かつ包括的な支援ために行政や関係機関等と連携し組織全体で受け止め対応する体制を構築します。

本会の自主財源である会員会費、共同募金は、その確保が年々厳しさを増し、介護保険事業は不安定な経営が重要な課題となっています。

本会を取り巻く環境はこれまで以上に厳しさを増し、法人としての役割が問われてきている中で、運営基盤の強化を図りながら複雑且つ深刻化する諸問題や課題解決に向けて、行政並びに関係機関と連携を図り、地域包括ケアシステム・地域共生社会の実現の一役を担う団体として役割を果たしていきます。そのためには、更に役職員が一丸となって本会の基本理念である「みんなで支え合い すべての人が安心して暮らせるまちづくり」の実現に向け邁進していきます。

- 1 日常生活圏内で支え合い・助け合う仕組み作りを進めていきます。
- 2 地域福祉活動に主体的に参加する人づくり・組織づくりを進めていきます。
- 3 他機関の協働による包括的・総合的な相談支援を進めていきます。
- 4 介護保険事業の現状分析と改善に向けた取組を進めていきます。